

小菅 優

ピアノ・リサイタル

ソナタ・シリーズ
「黄昏」
Vol.5

©Takehiro Goto

Program

モーツァルト
ピアノ・ソナタ 第18番 ニ長調
ウェーバー
ピアノ・ソナタ 第4番 ホ短調

シューベルト
ピアノ・ソナタ 第21番 変ロ長調 (遺作)

プログラムを変更する場合がございます。ご承知お願いします。

2026 **3/19** [木] 18:30 開場
19:00 開演
Halle Runde (名古屋市昭和区桜山町)

[チケット代金 (全席自由)]
一般：4,500 円 学生：2,000 円
ペア：8,000 円 (ルンデ取扱のみ)
整理番号順入場 WEB 早期申込み割引あり

チケットの購入はこちらから

ルンデ
<https://dbf.jp/runde/r260319>

* 未就学児のご入場はお断りいたしております。

『花束よりチケットを』

ルンデでは出演者のプレゼント等は受付にてお預かりいたしません。
そのお気持ちをチケットにかえて、ご家族、ご友人とお越しいただけ
ましたらうれしく思います。





小菅 優 (ピアノ) YU KOSUGE, Piano

9歳より演奏活動を開始し、2005年カーネギーホールで、翌06年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤、ノリントン、オラモ、ノットなどの指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、BBC響、NDR北ドイツ放送フィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響、フランス放送響、スイス・ロマンド管等と共演。ザルツブルク音楽祭ではボゴレリッチの代役としてヘレヴェッヘ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演。10年から15年まで、東京、大阪でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会(全8回)を行った。さらに現在はソロだけでなく室内楽や歌曲伴奏を含む、ベートーヴェンのすべてのピアノ付き作品を徐々に取り上げる企画「ベートーヴェン詣」に取り組んでいる。

録音は、ソニーから発売している・ライアン・ウィグルスワース指揮 BBC 交響楽団による『藤倉大：ピアノ協奏曲＜インパルス＞&WHIM / ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調』（第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞）をはじめ数多い。

第13回新日鉄音楽賞、第17回出光音楽賞などを受賞。14年に第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞、2017年第48回サントリー音楽賞受賞。2017年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催し好評を博した。2023年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト「ソナタ・シリーズ」を始動。

ソナタ・シリーズ

モーツァルトやベートーヴェンなど、古典派のピアノ・ソナタはピアニストにとって必ず通る道だと思いますが、ソナタの歴史を眺めると、バロックから現代まで、こんなにまで画期的な変化を成し遂げ、色とりどりのものがあるのかと改めて感心させられます。

これまで私はベートーヴェンの全ピアノ・ソナタ・シリーズ、そして印象派や国民楽派などのレパートリーを含めた Four Elements のシリーズを行ってきました。

それらを経て、今度はソナタというテーマに基づき、様々な時代を歩む作曲家の限らない世界に挑戦したいと思います。

若さと意欲に溢れるものを紹介し (Vol.1)、「幻想」という自由な構成と想像力を楽しみ (Vol.2)、“変奏”の複雑にして、一つのテーマというところから生まれる多彩なアイディアに触れ (Vol.3)、単一楽章で一つの大きなストーリーを語る革命的な道のりを歩み (Vol.4)、そして巨匠達の晩年のこの上ない深遠な世界 (Vol.5) でその旅を締めくくりたいと思います。

今私は40歳へと向かっていますが、そこを通りすぎたとき、音楽家としての成長において確実に得られるに違いないものを目指しています。その中で、シューベルトのソナタは大きなゴールの一つです。何故なら、これほどまでに人間の心の奥深くまで探る旅は他にないからです。闇、悲しみ、孤独、その深淵の世界の先には必ず美しいものもあり、その共存にはこの世界の哲学があると思うのです。

ソナタという一つのジャンルから、限りなく多彩で冒険的な音楽と出会い、そしてその奥深い世界を皆さまと探る5公演を、楽しくも実りのあるシリーズにしたいと思います。

Vol.5「黄昏」

ついにソナタ・シリーズのゴール地点に達した。演奏会一つ一つが大きな課題だったが、最終回では更に大きな目標が私を待っている。

晩年に達すると、人は何を考え、感じるのだろうか。今の私には想像しかできないが、最終回で取り上げる究極の3つのソナタには次のようなことが思い浮かぶ。どの作品も死神のような怖い存在と同時に、葛藤や苦悩を耐え忍んだ境地を超えた、寛大な優しさを。それぞれの凝縮された内容の中には、「まだ」というか、最後だからこそ訴えようとする、内なる炎が燃えている。

見事な対位法を用い、快活さを装いながらも、どこか寂しいモーツァルトの最後のソナタ。苦悩と恐怖、和解と優しさを、ピアノの持ち味を使って華やかに表すウェーバーの最後のソナタ。そして青春の喜びや懐かしさ、苦境と哀しみの間を彷徨い、人生の全てを語る、儚いシューベルトの最後のソナタ。

抒情。この上ない完成度。そして哀しみを垣間見せながらも常に生きることへの愛を感じさせる深い感情。作曲家たちの最後の静かな訴えを、皆さまに聴いていただきたい。

小菅 優

チケット販売 ▶▶ 芸文プレイガイド (052-972-0430) / ブレイクカフェ (Halle Runde 1階)

Web Live Concert 同時開催 ルンデ会員登録が必要です。詳しくはルンデWebサイトのチケット購入ページでご確認ください。

ご来場の皆さんへお願い

- 発熱(37.5℃以上)および体調不良の方のご来場はお控えください。公演後でも構いませんのでご連絡いただきましたら、ルンデ主催の他公演への振替をいたします。
- マスクのご持参をお願いいたします。感染症蔓延期は必ずご着用ください。
- ご来場いただく皆さんと共に作る音楽の場です。気軽に来ただけの場を目指していますが、よりよい空間にするためのルールとお願い事を下記URLのWebページに記載しておりますので、お時間があるときにご確認ください。

【ご来場の皆様へ(ルンデのルールその.2)】
https://dbf.jp/runde/index.cfm?page=rule02



一般財団法人 ルンデ

〒466-0044 名古屋市昭和区桜山町1丁目21番
TEL: 052-846-8566 / E-mail: runde@dbf.jp

【アクセス】

ホールへお越しの方の駐車場ご利用はお断りいたします。

名古屋駅からは、名古屋市営地下鉄桜通線

金山駅からは、名古屋市営バスをご利用ください。

・名古屋市営地下鉄桜通線・鶴舞線「御器所駅」3番出口

・名古屋市営地下鉄桜通線「桜山駅」1番出口

・名古屋市営バス「桜山」

(それぞれ徒歩10分程度)

https://dbf.jp/runde/

